

くまそう

vol. 17 ^{23.}_{01.}

winter season

Kumagaya
General
Hospital
News Letter

CONTENTS

新年のごあいさつ
入職医師紹介
地域医療支援病院
選定療養費
部署紹介 リハビリテーション科
リハ科 ワンポイント講座
栄養科のレシピ 冬
まちの医療機関
くまそうTOPIC

2023年

新年のご挨拶



病院長 今野 慎

新年あけましておめでとうございます。皆様健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

コロナ禍は未だ収束に至っておらず、患者様やご家族の皆様には面会制限をはじめ、多大な不自由をおかけしております。本来であれば暖かい日差しの中、患者さん同士が語り合う姿があるはずの病棟デイルームは今も閑散としています。スタッフも連日の発熱外来、ワクチン接種、コロナ患者さんの治療など以前とは一変した様相で、特に救急部門では受け入れ患者さんがコロナ陽性であったり、病床不足による入院調整困難事例など多くの問題が生じています。

このように病院全体がコロナに翻弄された3年間ではありますが、病院スタッフにとっては学び、成長した期間とも言えます。ある時点で正解のない問題に対して、情報を集約し、柔軟な思考で、多職種でスピーディに協議し、その時の最善を尽くした期間でした。これからも当院は困難にぶつかる度に学習し成長する組織でありたいと考えております。私が職員に話すことはこれだけです。「すべての責任は私にあります。さあ皆が考えた今のベストを患者さんのために実行しましょう。」

当院は昨秋、地域医療支援病院に認定されたことで、これまで以上に医療連携の中核病院としての役割が課せられております。コロナ禍の中、救急医療をはじめとした急性期医療を堅持するためには地域連携が不可欠です。地域の医療機関の皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが患者さんをはじめ地域の皆様には今後も温かいご支援、そして忌憚のないご意見、ご指導を賜りたく存じます。
本年もどうかよろしくお願い申し上げます。



入職医師紹介



○氏名 常岡 秀和

○専門 内科・循環器

○出身大学 千葉大学

○資格 日本循環器学会 専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本医学会認定健康スポーツ医

○趣味 水族館巡り、キャンプ、読書

○自己紹介・あいさつ

専門はアブレーションを主体とした不整脈診療ですが、循環器専門医として幅広く心疾患全般を勉強させていただきました。今後は急性期医療だけでなく、先生方と協力して患者一人一人の生活を支えるだけでなく希望を叶えられる医療を目指していきたいと考えています。

私事ではありますが腰椎椎間板ヘルニアを昨年手術で治したので、今年はこの県北で釣りやランニング等をして楽しみたいと思います。



○氏名 新井 亜希

○専門 神経疾患一般

○出身大学 秋田大学

○資格 日本神経学会専門医・指導医
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
人間ドック健診情報管理指導士

○自己紹介・あいさつ

「安心感のある診療」を
心掛けております。

神経難病や障がいとともに生きる方々の
安心の一助となるように努力いたします。



当院は、2022 年9 月27 日付で
埼玉県知事から「地域医療支援病院」の承認を受けました。
地域の医療機関との連携を今まで以上に強化・充実させるとともに、
地域全体の医療の質向上を図り、
地域の患者さんにより良い医療を提供できるよう努めてまいります。

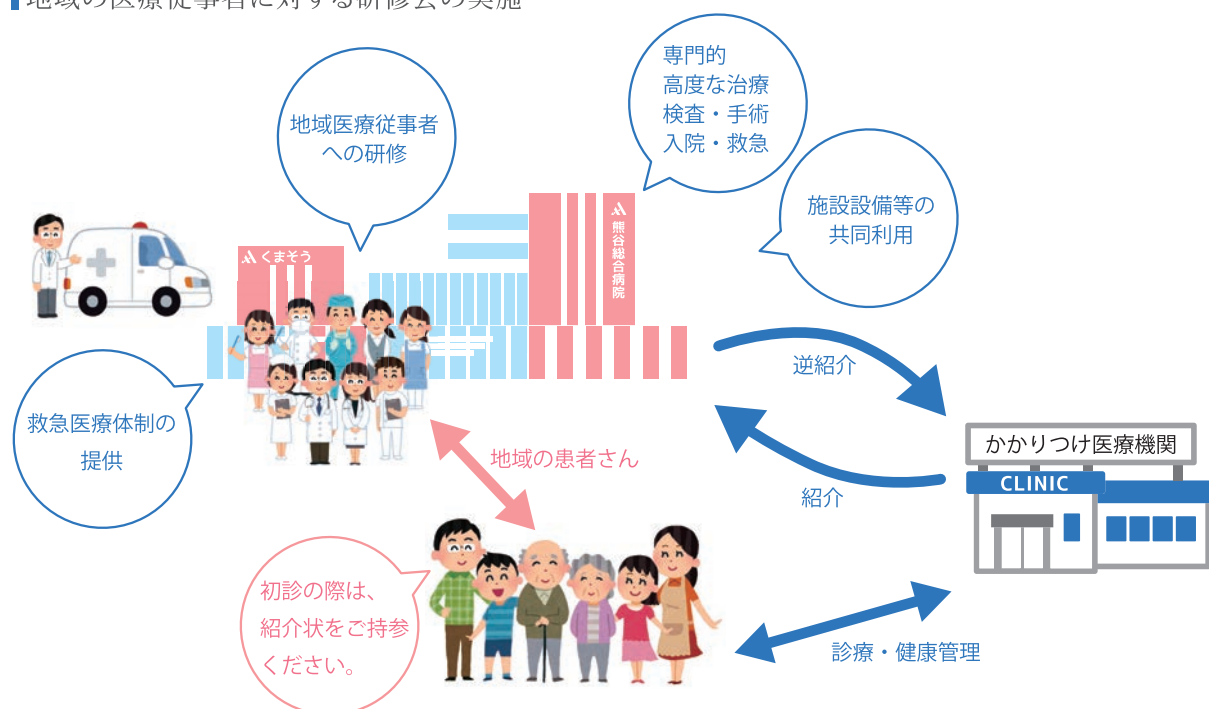


地域医療支援病院とは

「地域医療支援病院」とは、地域の医療機関（かかりつけ医）との役割分担と連携を図り、
地域医療全体の充実を図ることを目的とした制度で、「地域医療支援病院」としての必要な能力を備え、
設備や診療機能に一定の要件を満たした地域医療の中核となる病院が都道府県により承認されます。

地域医療支援病院としての当院の主な役割

- 医療機関からのご紹介患者さんへの専門的な医療の提供とかかりつけ医への逆紹介
- 当院の施設・設備を他の医療機関と共同で利用できる体制
- 24時間体制による救急医療の提供
- 地域の医療従事者に対する研修会の実施



当院に受診される患者さんへのお願い

地域における医療機能の継続には、かかりつけ医と救急や入院治療など専門的な診療が必要な病院との役割分担が重要です。

■ 病院初診の方は、かかりつけ医からの紹介状を持参してください。

紹介状がない初診の受診の患者さんは、**選定療養費**7,700円の負担がかかります。

紹介状があることで、患者さんの医療情報(これまでの治療経過等)がわかり、結果的に過剰な検査を避け、必要な治療が迅速に提供されることにつながります。

■ 当院での治療が一段落し状態が安定された患者さんは、地域のクリニック等(かかりつけ医)へ定期通院のご紹介をさせていただきます。

身近で日常生活に密着した診療を行う地域の診療所に定期通院し、専門的な検査等の必要性が生じた場合に、当院に紹介受診する「二人主治医制」を当院は導入しています。

・ 初診時 ・ 再診時 選定医療費が

令和4年10月から変更になりました

令和4年診療報酬改定により下記のとおり変更となりますのでお知らせ致します。

初診時 選定療養費

紹介状を持参せずに受診された場合

令和4年9月30日まで

7,700円(税込)

変更なし

令和4年10月1日から

7,700円(税込)

当院通院中の診療科から紹介されずに別の診療科を受診された場合

※ 例) 内科に通院中の患者さんが内科の医師からの紹介状なしで外科を受診された場合等

負担対象外

令和4年10月1日から

7,700円(税込)

再診時 選定療養費

他の医療機関への紹介を申し出た後も、引き続き当院の受診を希望されて受診された場合

※ 予約の方は除く

令和4年9月30日まで

負担対象外

令和4年10月1日から

3,300円(税込)

時間外 特別徴収金

時間外・夜間・休日に軽症で受診された方

負担対象外

- ・ 入院した場合
- ・ 他の医療機関から救急で受診するための紹介状を持参した場合
- ・ 当院で定期的に予約にて受診をされている方であり、症状の憎悪によって時間外に再受診する場合

令和4年10月1日から

8,800円(税込)

お仕事紹介

リハビリテーション科

理学療法士 (PT)	59名
作業療法士 (OT)	28名
言語聴覚士 (ST)	8名
事務員	2名
助手	1名



当科は患者さんの早期回復・早期退院や社会復帰を促すべく日々治療にあたっています。

スタッフは100名規模となり365日体制でリハビリテーションを行っています。リハビリテーション治療はもちろん、日常生活動作の段階などを医師、看護師、MSW（メディカルソーシャルワーカー）や院外のケアマネージャーなどと共有し、退院支援に向けてもチーム医療の一員として仕事をしています。



各職種の紹介

理学療法 (Physical Therapy : PT)

何らかの疾病、障害(スポーツを含む)などに起因する機能・形態障害に対して、筋力、関節可動域、協調性といった身体機能の改善を図る治療科学です。能力 障害が残ったとき、基本的動作(立つ、歩くなど)や日常生活活動を改善するための指導、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするための福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケアなどが含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障害予防も理学療法の対象になっています。



作業療法 (Occupational Therapy : OT)

身体または精神に障害がある者、またはそれが予測されるものに対してその主体的な活動の獲得をはかるため、諸機能の回復・維持及び開発を促す作業活動を用いて行う治療・指導・援助です。





言語聴覚療法（Speech Therapy：ST）

主に脳卒中等の病気や、事故で起こる失語症（脳の障害により読む、書く、聞く、話す等の障害）や構音障害（呂律が回らない状態）によりコミュニケーションに問題がある方、飲んだり食べたりする際にむせ込んでしまう嚥下障害を持つ方々に対して、検査・評価を実施し、必要な訓練、指導、アドバイスをはじめとした援助を行う専門職です。



科の紹介

当科にはPT・OT・ST混合のチーム編成があり、日常業務から職員教育までサポート体制を整えています。

若いスタッフが多く、総合病院として幅広い患者層に対し、日々研鑽を積みながら臨床業務に従事できることから、新卒の入職希望者から毎年多くの応募をいただいています。

若い組織として、職員同士も日々明るく働いており、目標を共有しながら、患者様の治療に取り組んでいます。

経験を積んだスタッフが地域で活躍できるよう、臨床と教育、両輪を意識した体制の構築を目指し、毎年体制に磨きをかけています。



理学療法 3854件 作業療法2342件 言語聴覚療法1195件 合計7391件（2021年度）
整形外科や脳神経外科はもちろん、がん患者や呼吸器・循環器疾患などの患者さんの依頼も多く受けています。

みなさんへ

高齢社会となり、一層健康寿命の延伸が必要と考えています。今まで行ってきた病院でのリハビリテーションの更なる充実と共に、在宅患者へのリハビリテーションや熊谷市および近隣においての介護予防等の地域支援においても需要を満たすべく、対応が必要と考えています。

治療から予防まで幅広い対応を目指す「熊谷総合病院リハビリテーション科」に今後ご期待ください！



リハビリテーション科 ワンポイント講座

筋力低下

今回は整形外科における筋力低下について紹介します。みなさん、筋力低下はなぜ起きると思いますか？多くの方は、しばらく運動せずに筋肉を使わなかったから弱ってしまったのかなと思われると思います。当然、運動しないことによる筋力低下もありますが、今回はそれ以外の原因について紹介します。

整形外科疾患では、多くの場合痛みを伴います。痛みがある状態では筋肉や関節の周囲は腫れてしまいます。よく膝が腫れてしまって水が溜まったので抜きましょうと聞いたことがあると思います。水が溜まると関節の周りの組織が圧迫されてしまい反射的に筋力が低下してしまいます。そのため水を抜いた後は、膝が軽くなって力が入りやすくなります。

反射的な筋力低下は腫れたらすぐに起こり、腫れが引けば回復してきます。整形外科で水を抜いてもらうこともできますが、毎回抜くわけにはいかないですね。

リハビリで指導していることを紹介します。

- ①まずは、熱を持っているかの確認を行います。
熱を持っているようなら炎症が起きてしまっているのでクーリングが必要になります。熱を持っているうちはしっかり冷やしましょう。
- ②次に、運動です。痛みがあると運動はしたくないと思いますが、筋肉が血管を動かしてくれることで水分が動きますので、動かさないと腫れは引いてきてくれません。筋肉を使うことで腫れが引いてくるだけでなく、その後も腫れにくくなってきます。

リハビリで指導していることを紹介します。



- ① 骨盤をしっかり起こす
 - ② つま先をしっかり挙げる
 - ③ 膝の裏を押し付ける
 - ④ 膝の力を抜く
- ※ ①、②をキープして③、④を繰り返します。

膝は足と股関節に挟まれているので、足と股関節の姿勢も重要ですので、しっかり意識してください。

回数よりもしっかり、力を入れて抜くことを意識しましょう。

※ 頑張りすぎると余計に腫れてしまうこともあるので、痛みをみながら実施します。主治医の先生から許可されていないうちは実施しないように注意しましょう。





旬の食材で
免疫力アップ!

栄養科

寒さの厳しい日々が続いています。
そんな寒い日に食べたい料理と
言えば、

「おでん」ですね。



さて、皆さんはおでんの歴史を知っていますか？ おでんのルーツは、室町時代に流行した「豆腐田楽」です。
やがて煮込みおでんへと進化し、現在では定番の家庭料理の一つとなっています。

そんなおでんの魅力の一つは、大根、卵、糸こんにゃく等、沢山の具(たね)が楽しめることです。

皆さんそれぞれに好きな具材があると思いますが、そのなかでも今回は大根に着目したいと思います。

大根は、ほぼ一年中目にしますが、特に冬を中心に旬の野菜です。

美味しい大根の選び方として、持った際にずっしりと重みがあり、ひげ根がついているくぼみを通る筋が垂直にまっすぐ通ったものが良いでしょう。お買い物の参考にしてみてください。

大根を上手に使って、是非大切な人と一緒におでんを味わってみてはいかがでしょうか。

おでん (材料/2人分)

大根	200g
卵	2個
糸こんにゃく	100g
はんぺん	1枚
ちくわ	1本
さつま揚げ	2枚
だし汁用水	1L
だし昆布	1枚
かつお節	15g
醤油	大さじ2
酒	大さじ2
みりん	大さじ2
からし	適量

作り方

- 1 大根は3cmの厚さの輪切りにして薄く皮を剥く。
片面には十字の切り込みを入れ、30分程下茹でをする。
卵は水から12分茹でて水に取り、冷めたら殻を剥く。
糸こんにゃくは一口大に結び、2分程度下茹でをする。
はんぺんは三角形に、ちくわは斜め半分に切る。
さつま揚げはザルに乗せて熱湯を回しかけ、油抜きをする。
- 2 だし汁を作る。鍋に水・だし昆布を入れて火にかけ、ひと煮立ちしたら昆布を取り出し、かつお節を入れて火を止める。
2分後にかつお節を取り出し、
濃口醤油・酒・みりんを入れて再び火にかける。
- 3 深鍋にだし汁と具材を入れ、弱火で30分程度煮込む。
火を止め、十分味をしみこませたら完成。



当院では、外来栄養指導を行っています。
糖尿病や高血圧症などがある方は、
栄養指導を受けることが可能です。
まずは主治医に相談してみてください。



まちの医療機関

～くまそうの医療連携パートナーをご紹介します～

No.012

あべ泌尿器科

TEL:048-599-0221

- 診療科 泌尿器科
- 住所 熊谷市太井 1641-5
- 院長 阿部 拓 先生
- 駐車場 無料駐車場50台あり
- 診療所の特色

待ち時間が短く、充実した医療機関で泌尿器科専門医の診療が受けられるクリニックを目指しております。男性、女性問わず腎臓、尿管、膀胱、前立腺そして尿道などの排尿に関係する臓器のすべてを扱っております。

■院長先生のモットー・大切にされていること

今までに泌尿器科専門医・指導医として、外来、手術、入院診療に携わってまいりました。今後は泌尿器科専門医としての専門性を生かしながら、お気軽に御相談頂ける「かかりつけ医」を目指していきたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



		月	火	水	木	金	土	日
泌尿器科	9:00～12:00	●	●	—	●	●	●	—
	15:00～18:00	●	●	—	●	●	—	—

■休診日：水・日・祝・土（午後）

No.013

医療法人麻葉会 あけとクリニック

TEL:048-577-8878

- 診療科 内科・泌尿器科
- 住所 熊谷市市川原明戸 569
- 院長 本松 直樹 先生
- 駐車場 10台ほどあり
- 診療所の特色

内科、泌尿器科の外来診療に加え訪問診療と透析医療を行っております。

車椅子の透析患者様の無料送迎も可能です。お気軽にお問い合わせください。

■院長先生のモットー・大切にされていること

患者さんに「この診療所に来て良かった」と言って頂けるように常に努力精進する事。



		月	火	水	木	金	土	日
内科 泌尿器科	11:00～12:00	内	内	—	内	内 ※ (9:00～) (要問合せ)	—	—
	15:00～18:00	—	内	—	—	—	—	—

■透析は事前に予約された日程で行います。



熊谷市医師会・熊谷市消防本部との合同訓練として、 第10回 大規模災害訓練を実施いたしました

今年の訓練は埼玉県北部を震源とする震度6強の地震が発生した場合を想定して行い、災害対策本部の設置から入院患者や建物等の被害状況の報告、救急隊からの傷病者の受入やトリアージ訓練を行いました。

当院からは90名、他の医療機関の医師を含む医療従事者および救急隊員に8名参加していただき、模擬患者の迫真の演技も加わり、一層リアルな訓練となりました。

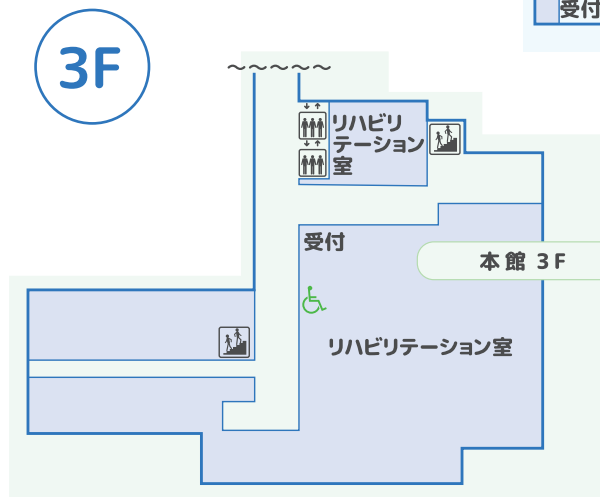
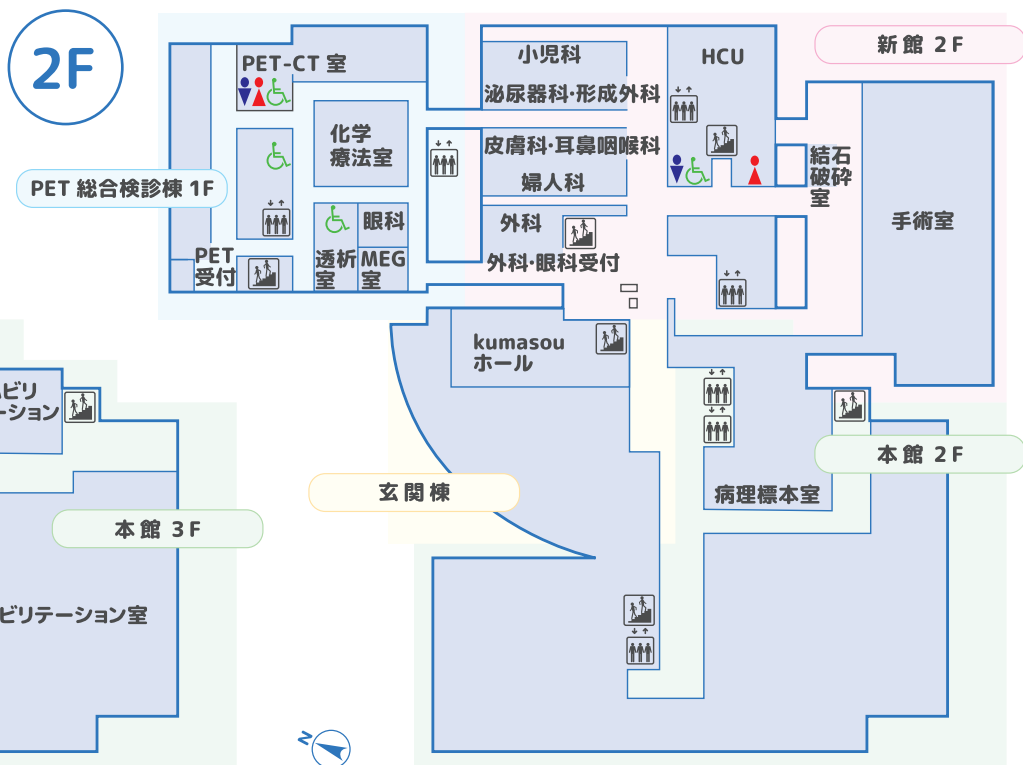
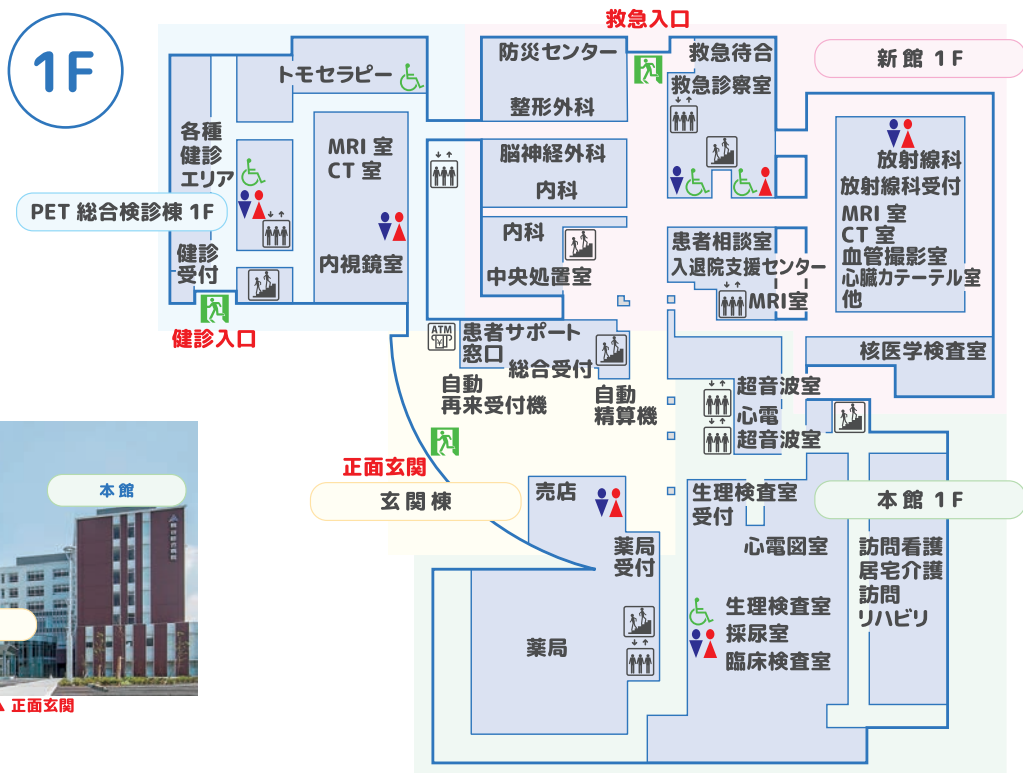
大規模な地震が発生した場合、救急医療を担う病院には多くの傷病者が搬送されます。各医療機関には、定期的な災害訓練を行うことが義務付けられており、当院も同様に、医療提供体制を継続できるよう災害時のBCP（事業継続計画）をはじめとする災害対策に力を入れ、防災訓練を定期的実施しております。

今回の訓練を通じ、今後起こりうる災害時の発生事象について、スタッフの連携や準備、搬送時のトリアージによる的確で迅速な判断が求められることのほか、災害下での感染症対策の課題も共有しながら訓練ができたことは大きな意義がありました。発災時に具体的にどのような行動をとるべきか、また、どのような備えが必要か確認する貴重な機会となりました。災害時にもいかに傷病者の不安に寄り添い、安全な医療を継続するかは重要な課題です。限られた資源の中で、内部外部との関連機関との連携のあり方を確認する訓練として貴重な機会として取り組みました。

今後も、災害時における当院の役割を十分に発揮できるよう努めてまいります。



くまそう 院内マップ 1F～3F



病院理念

わたくしたちは、この地に歴史をきざむ熊谷総合病院に勤める医療人です。
わたくしたちは、この地にふさわしい専門的視野と未来への展望に立って、ここに新生熊谷総合病院の病院理念を制定いたします。

- 一、わたくしたちは地域の一員として、すべての患者さんを心あたたかく迎え入れます。
- 一、わたくしたちは地域の医療を常に高く保つため、みずから進んで学習します。
- 一、わたくしたちは地域の未来をになう若き医療人の育成に励みます。
- 一、わたくしたちは地域の必要に応える最新医療を提供し続けます。

そしてわたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築きあげます。



日本医療機能評価機構
認定病院 (3rdGVer.1.1)



社会医療法人

熊谷総合病院

〒360-8567 埼玉県熊谷市中西4-5-1
TEL:048-521-0065(代) FAX:048-523-5928(代)
<https://www.kumasou.or.jp/>

